

【登山コースとアクセス】

太宰府市側のコース

☆西鉄大牟田線で西鉄二日市駅乗換え、太宰府駅より太宰府市コミュニティバス(まほろば号)「内山」行き終点で下車。竈門神社の本殿前から左の車道を100m登った鳥居が登山口です。

☆太宰府駅より約2.3キロ、徒歩約40分です。

☆車の場合は竈門神社の駐車場(有料)が利用できます。

宇美町側のコース

☆福岡・天神から「極楽寺」行き西鉄バスで障子岳下車。徒歩10分の「宇美・昭和の森」が起点になります。

凡例

尾根	
道路(細線は林道等)	
登山道	
九州自然歩道	
山頂	

【九州自然歩道】は、四王寺山から宝満山の正面登山道を経由し、宝満山山頂から三郡山をへて米ノ山峠を下り、大根地山に向かって延びています。



登山上の注意

☆正面登山道は、よく整備され標識も整っています。しかし、それ以外のコースは、地図などでよく確認をしてください。三郡山方面への縦走や、難所ヶ滝のコースも同様です。

☆下りでは、思いのほかひざ等に大きな負担がかかります。上りはゆっくりとしたペースを保ち、下りの余力を残しておきましょう。

☆時間には十分に余裕を持って登りましょう。

☆ごみは持ち帰りましょう。

☆台風や豪雨の後には倒木や落石が発生している場合があります。十分に注意して登りましょう。

お問い合わせ先

太宰府市観光交流課	092(928)3938
太宰府観光協会	092(925)1880
竈門神社	092(922)4106
宇美町地域振興課	092(932)1111

太宰府市

Tel 092-928-3938 (観光交流課)

Fax 092-918-8701

<http://www.city.dazaifu.lg.jp>

協力 九州登山情報センター「山の図書館」

Tel 092(928)2729

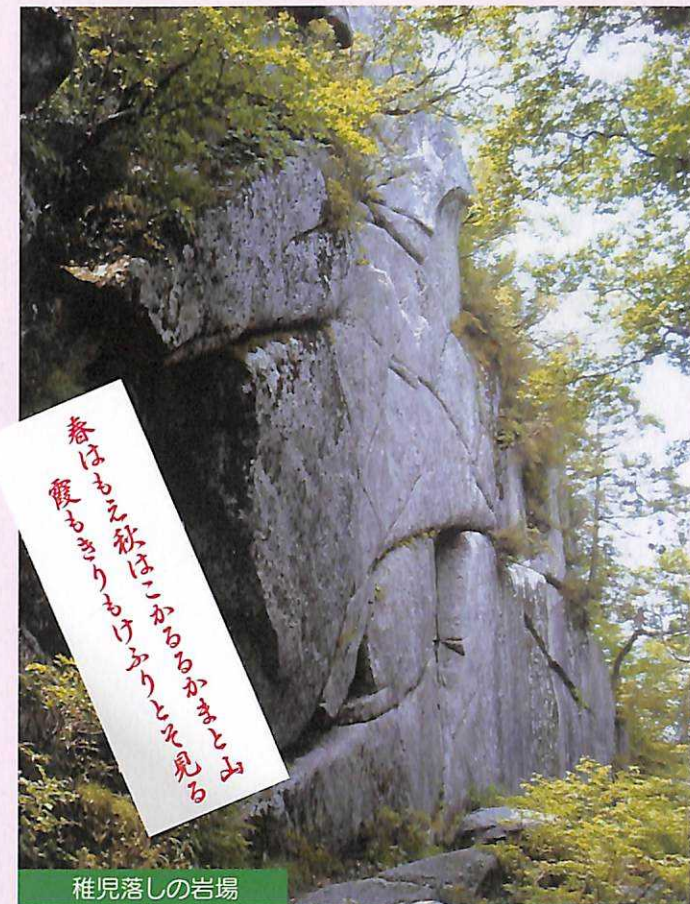
2011.4 作成

宝満山

登山案内



山頂の上宮



稚児落しの岩場

このリーフレットは「歴史と文化の環境税」で作成したものです。

宝満山 正面登山道…コースガイド

かまど 竈門神社～休堂跡（三合目）

登山口…竈門神社の本殿前を左に抜けると川沿いに式部神社があり、ここが一合目。鳥居をくぐり「宝満山登山道」の標識に従って登ると車道（内山林道）に出る。300mほどで車道と別れ池の西側を通りやがて山道になる。車道を横切って道をたどると車道終点の広場。林に入り石段を登り「一の鳥居」（二合目）。すぐ先で「天狗道」が右に分かれる。しばらく緩やかな尾根道を行き、急なジグザグ道を越えると三合目の「休堂跡」で水場がある。

休堂跡～中宮跡

ここからは急な石段が連続するのでゆっくりと登りたい。高まる心拍数を抑えるのが登りのコツ。五合目には「殺生禁断」碑が建つ。「百段ガンギ」は規則的な石段でまさに胸突き八丁。これを登りきると坊跡の広場（七合目）で、湧水（関加の井）がある。さらに石段を登り、「芭蕉句碑」を見て「中宮跡」につく。

中宮跡～宝満山々頂

「中宮跡」は、修験の講堂跡の礎石が点在する広場で、「竈門山碑※」があり目を凝らすと宝満山々頂が望める。すぐに八合目で、右へ「女道」が分かれる。（女道は山腹を巻いてキャンプ場に続く）

正面登山道はまっすぐに石段を登り、巨岩の下に行く。（石段の上で左に「羅漢道」が分かれる）これから山頂にかけて巨岩の間を縫って行く道は、修験の道場の雰囲気漂ってくる。袖すり岩馬蹄石を通るとまもなく上宮の祠が建つ山頂につく。

※竈門山は宝満山の別称



シャクナゲ
(五月上旬)

竈門神社から宝満山（正面登山道）所要時間
上り
・竈門神社→30分→一の鳥居→20分→休堂跡→40分→中宮跡→20分→宝満山（約2時間）
・中宮跡（女道）→15分→キャンプ場→5分→宝満山
下り
・宝満山→20分→中宮跡→30分→休堂跡→20分→一の鳥居→20分→竈門神社

凡例	
川・谷	
道路(細線は林道等)	
登山道	
登山道(九州自然歩道)	
山頂	

数字は標高・m ※等高線は50mの概略です

梅林
アスレチック
スポーツ公園

至・太宰府
天満宮

ちょっときついけど…楽しい 正面登山道の紹介



山頂から四王寺山 福岡市街を望む

歴史とロマンの山・宝満山

宝満山は、おそらく福岡県で最も登山者の多い、人気の高い山です。竈門神社からの正面登山道はよく整備されており、いつも老若男女の姿が見られます。

標高829.6mの山頂からは、福岡市街から玄界灘、筑紫平野を見下ろし、英彦山や古処山につづく山並を望み、360度を展望することができます。

この展望の良さと歴史に彩られた雰囲気から、一年中登山者が絶えず、とりわけ元旦には、ご来光登山の人々で賑わいます。

山頂には竈門神社上宮が、麓には下宮が鎮座しており、古代都市・大宰府の鬼門（東北の方角）を封じたと伝えられています。

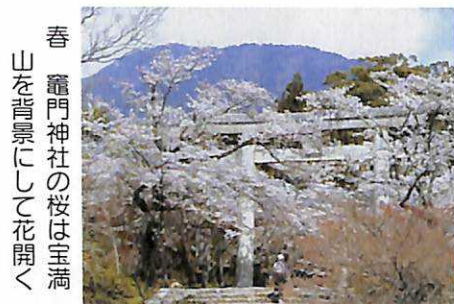
また、玉依姫の伝説、伝教大師や弘法大師が遣唐使船の航海安全や、雨乞いをされた地として知られ、さらには修験道の霊峰として崇められた史跡の山でもあり、古代より現在に至るまで、多くの人をひきつけています。

高さの割に傾斜のきつい山道は、登山による健康増進や体力養成にも利用されており、山頂近くには、キャンプ場と山小屋（無人）もあって、アウトドアを楽しむ人々に親しまれています。

春の桜、椿やシャクナゲ、ミツバツツジの群生、ブナ林の新緑、秋の紅葉、冬の難所ヶ滝の氷結など、四季折々の魅力をお楽しみ下さい。



百段ガンギ 子どもたちが数えると丁度百段あった



春 竈門神社の桜は宝満山を背景にして花開く



山頂の賑わいこの日は近郊の中学校の登山



冬 厳しい姿を見せる中宮跡の積雪(一月中旬)



修験道が今も息づく火渡り(五月下旬・竈門神社)